

調査名		孔番・深度		観察日								
		0/2 (15~20)		3/21								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 FAD	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	0.5				c	IV	D	δ	2			・15.10m. 65°と15.20m. 55°の世人断性割れ目で、前者は交差割れ目とあり、後者は石英斑晶とあり。
	1.6	16.24	Gp	2.5YR 7/3 はくばり橙					0	7		・15.47m以深では、割れ目等に幅1~2mm程度の風化は認められる。 ・16.12m. 60°割れ目に微小な金属鉱物晶と認められる。 ・16.24~17.66m この層全体に著しく軟化が認められ、17.46m以下では岩組織が割れ目で壊滅している。割れ目の一部は、マンガン結晶と受火黒褐色化が認められる。
	0.6	17.46					E		3		D	・16.59m. 50°の世人断性割れ目で、交差割れ目と認められ、割れ目は架状構造を有し、風化程度は比較的弱く砂化している。
	1.7	17.66							0	5		・17.05~17.30mにφ50~100mmと径差が大きい形状の長石斑晶が多い。長石は全くと結晶で台型化している。
	0.5	17.66										・17.46~17.66mはφ10~20mm前後の細片状。割れ目状態は不明
	1.8	17.66										・17.66~19.78m 割れ目は少なく、30~60°の割れ目が主体で、割れ目の一部は斜交の結晶化して、軟化が認められる。
	0.5								12	12		・18.21m. 50°割れ目は、割れ目等に1~2mm程度の風化は認められる。割れ目間には微細な金属鉱物晶と認められる。
	1.9								19	19		・18.77m. 55°の世人断性割れ目で、幅2mm程度の石英結晶と認められる。 ・18.97m. 50°割れ目等にマンガン結晶と黒褐色化が認められる。
	0.5											・19.30m. 62°割れ目等に幅5~15mm程度の砂化・細片状化が認められ、若干の結晶を含む。
	2.0	19.78 19.87							20	20		・19.78~19.87m: 2枚の帯状 Hb (主として断面・19.87m) 上部50°、下部60°の両面が互角に認められる。19.87m以下は石英結晶が5~10mm程度の結晶化して Gp 割れ目と石英結晶が認められる。浅部橙褐色(10YR 8/4) 程度の厚さ10~50mmと結晶化が認められる。

調査名		孔番・深度		観察日								
		D1-2 (20 ~ 25)		3/22 3/23								
標尺 (m)	深度 (m)	境界 亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
20	20.56		Gp	25YR 7/3 100%橙	c	IV	D	δ	Z			19.87 ~ 20.56 m 60°割れ目100%の平行に分布し、一部に幅1~2mmの軟弱な粘土状の付着
21	21.50					III	C	γ		36	25	20.56 ~ 21.50 m 直上位置と同様。60°割れ目の存在。直上位置より硬質で、塊状に付着する。 20.90m. 60°割れ目には軟弱な雲母の付着(2mm)が、粘土状に付着する。 20.74~20.77m. 30°幅30mmで斑状の付着。微晶部が分布。上下部は付着を著し2mm。 20.56~21.30m. 80°の低角度割れ目2~3本が分布。割れ目には2mmの粘土状の付着。
22	22.10				d	VI	E			3	11	21.50 ~ 23.18 m 直上位置より軟化傾向がある(2°割れ目IV)、硬質で硬質。割れ目は特定方向の付着が分布する。一部に割れ目には軟化傾向がある。 21.09m. 150° ~ 22.10m. 50°の割れ目部分は粘土化、軟化(2mm) 21.50m. 60°割れ目に幅2~3mmの軟弱な粘土状の付着 22.17m. 60°割れ目に幅1~2mmの硬質の粘土状の付着 22.21m. 50°の軟弱な割れ目で、変質の割れ目Eに付着(割れ目25mm 左2L) 22.32m. 40°幅20mmの長石濃染部が、岩石に密着して分布 22.89m. 85°の軟弱な割れ目で、変質の割れ目Eに付着(変位量15mm 左2L)
23	23.18					IV						23.18 ~ 24.04 m 割れ目の付着硬質。40~60°割れ目全体で、割れ目の一部に幅1~2mmの軟弱な付着~圧縮粘土状の付着
24	24.04				c	III	C	γ	Z			23.68m. 23.72m. 50°の幅1mmの石英の付着に密着して分布 23.88m. 70°幅4~5mmの長石の付着が、岩石に密着して分布
25	24.82				c	IV	D			34	14	24.04 ~ 25.22 m 直上位置より軟化傾向がある。20~60°割れ目が全体に軟化傾向。割れ目の一部は軟化傾向。 24.80~24.82m. 60°幅15mmは粘土化と軟化

調査名		孔番・深度		D1-2 (25 ~ 30)		観察日		3/23					
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ					風化	変質
25	25.22				C	IV	D	Y	2		CL	25.22 ~ 26.04 m 一部の割れ目では、割れ目面に薄く酸化鉄の付着が認められ、割れ目口が赤い。 一部の割れ目では、幅0.5~1mmの白色・軟弱な粘土状の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。	
26	26.04		Gp	7.5YR 7/3 細い 橙		III	C		4.5	1.9	CM	26.04 ~ 27.04 m 互いに交差する40~60°割れ目が互いに、上位に互いに割れ目が少く、 割れ目の面は薄く酸化鉄の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。	
27	27.30								2.5	1.3	CL	27.30 ~ 27.32 m は上下端60°割れ目は幅0.5~1mmの軟弱な深褐色粘土状の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。 27.30 ~ 27.32 m は上下端60°割れ目は幅0.5~1mmの軟弱な深褐色粘土状の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。	
28	28.42								0	0.8		28.42 ~ 28.46 m 上端65°、下端55°割れ目に因り、 4.5mm前後の細片状の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。 下端は幅2mm程度の酸化鉄の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。 酸化鉄の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。 酸化鉄の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。	
29	29.50				C	III	C	Y	2	1.5	1.5	CM	29.50 ~ 30.20 m 割れ目が少く硬質。 40~60°割れ目が互いに、酸化鉄の付着が認められ、割れ目の面が酸化鉄の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。 酸化鉄の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。 酸化鉄の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。
30	30.20								6.0	2.4		30.20 m 付着の55°と60°割れ目は互いに、酸化鉄の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。 酸化鉄の付着が認められ、酸化鉄の付着は少ない。	

調査名		孔番・深度		観察日																	
		D1-2 (30 ~ 35)		3/26																	
標尺 (m) <sup>30</sup>	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等									
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質								
	30.20		Gp	7.5YR 7/3 R2.5 橙	c	IV	c	Y	2		CM	30.20 ~ 31.44 m 上位と同様に割れ目(硬さc)、割れ目は多量(IV)、 互いに交差する30~60°割れ目あり。粘土化部は分布せず。 粘土脈は少ない。 割れ目の一部は砂状化部。									
0.5																					
31	31.41 31.44 31.46																		32	18	C2
0.5											Hc1	31.44 ~ 31.46 m : 破碎帯 Hc-1 (主断面 31.46 m) 上部・下部35°で、両者は互いの方向に連続。 9~12mmの黄粒を含む軟弱な粘土で、灰白色~R2.5 橙 (10YR 7/3) ~ 灰赤色 (2.5YR 6/2) を呈する。厚210~12mm									
32				7.5YR 7/3 R2.5 橙	c	V	d		3	16	16	C2	31.46 ~ 33.00 m 割れ目は少く、低密着割れ目の概ね10~30mm 程度の分布を伴った2P形状E Vと評価される。 低密着割れ目は30~60°主体で、割れ目も低密着割 れ目には幅0.5~2mmの軟弱な白色~灰赤(2.5YR 6/2) 粘土脈を伴うものがある。 31.70 ~ 31.80 m は幅10mm年輪・30°の2P形状E V 黒褐色粘土部が分布する。								
0.5																					
33	33.00																		0	0	
0.5																					
34																					
0.5																					
35																					

余白

H24-D1-4

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番			観察日		
		D1-4			4/15		
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	マーカ-		地質名	色調	堆積構造・特徴等
			火砕土	山灰物 質土 具石 木片			
0							
	0.32				礫 埋れ 土	RfYR 3/1 黒褐	0~2.94m:埋れ土 0~0.32m:礫 15~30mmの黒色片石を含む
	0.5				礫 粗砂 埋れ 土	RfYR 5/0 明黄褐	0.32~2.94m:礫泥粗砂 15~40mmのGr, Apの角~亜角礫を含む粗砂を主とする 15~30mmの片石片石を含む
	1						
	0.5						
	2						
	0.5						
	2.94						
3					礫 (改良土)	10YR7/6 明黄褐	2.94~5.60m:砂礫 15~130mmのGr, Apの角~亜角礫を主とする 一部に半角礫も含む 基質は中砂~粗砂にみちみちしている 礫含有率は40~50%である。1.5m深さから100mm前後の小礫が主
	0.5						
	4						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日		
		D1-4 (457.8)		5/15, 5/16		
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
			マーカ r m o c 山灰物 炭質土 貝化石 木片			
4	0.5	4.91	104R 7/6 明黄褐色	砕礫 (改良土)	104R 6/4 灰白色	4.96 ~ 5.12 m 中 10 ~ 60 mm のゴロ石が一部含まれる。
5	0.5	5.60	砕礫 粗砂 (改良土)	砕礫 粗砂 (改良土)	5.60 ~ 7.40 m 礫混り粗砂 上層層内にも礫量が減少したものの 上位より 10 ~ 20 mm 程度 礫は 5 ~ 10 mm 程度の半砕礫の Gp 成分で一部 は細砂である。	改良土
6	0.5	7.00	7.40 ~ 7.60 m 礫混り粗砂 含礫率 50% 程度で上下に不均一な層である。 礫は 10 mm 以下の小型の角礫のものが多い。	7.40 ~ 7.60 m 礫混り粗砂 含礫率 50% 程度で上下に不均一な層である。 礫は 10 mm 以下の小型の角礫のものが多い。	7.60 ~ 7.80 m 明赤褐色 (2.54R 3/3) の軟弱な粘土質の粗砂が 7 ~ 10 mm 程度に分布する。浅部は礫部側への連続性は保たれる。	改良土
7	0.5	7.62	7.80 ~ 7.90 m 礫混り粗砂 7.90 ~ 8.00 m 礫混り粗砂	7.80 ~ 7.90 m 礫混り粗砂 7.90 ~ 8.00 m 礫混り粗砂	7.80 ~ 7.90 m 礫混り粗砂 7.90 ~ 8.00 m 礫混り粗砂	改良土
8	0.5	8.62	Gp	Gp	8.62 m 礫混り粗砂 基礎層の観察を参考	改良土

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等



調査名		孔番・深度		観察日									
		D/-4 (7.40 ~ 10)		5/16									
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 RAD	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
6													
7			半田系										
0.5	7.62											半田系コア観察カード参照 7.62mで着床 ↑	
8			Gp	25YR 7/3 1.5mm程度	c	v	D	δ	2	0	6	CL	<p>7.62~8.00m 石英と長石を主成分とする花崗斑岩(Gp)</p> <p>7.62 ~ 9.26 m            岩組織と割れ目は珪岩(200)。            珪岩結晶部と粘土鉱物は珪岩に分布する。            割れ目は30~60°の全体で、一部は20°以内の角度に直交する60~80°割れ目も分布する。            風化は割れ目には数mm程度の砂状化と小細片化が認められる。</p> <p>8.78m、60°割れ目、8.91m、85°割れ目には珪岩の白色粘土が幅0.5mm程度の面に付着(200)。</p> <p>8.17~8.20m、60°割れ目(0.5mm)割れ目と20°以内の直交する珪岩(200) (25YR 5/6明褐色)の付着が認められる。</p> <p>9.26~9.38m            全体に固化和変質の軟化著(200)。            200.5、区間の上端側9.26~9.32mと下端側9.36~9.38mでは、φ5~10mmの緑灰色化した岩片主体で、岩片間には幅1mm程度の軟弱な上端側には100μm褐色、下端側は</p>
0.5	9.00								0	7			
9	9.36 9.38			10YR 6/6 明褐色	d	v	E		3				
0.5	9.26 9.32 9.35 9.45 9.50			2.5YR 7/2 明褐色	c	v	D	δ	2			CL	
10									0	3			

5/16

調査名		孔番・深度		観察日									
		DL-4 (10 ~ 15)		5/20									
標尺 (m) <sup>1/0</sup>	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
0.5	10.00		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	c	v	D	δ	3			灰白色の粘土脈の分布、粘土泥片状を呈す。 中間中央部の9.32~9.34mでは、更に粘土化が 進み、中3~10mmの緑灰色化粘土粘土層を多 く含む。上・下端45°、幅30mmの稜角粘 土あり。 9.34~9.36mは、上端45°、下端50°で連続的に 連続的幅5~7.5mmの軟弱白に赤褐色を 呈す粘土脈あり。	
1.1	10.76 10.91 10.93				d	v	E		0	3	D	Hc-2	9.38~10.76m 硬土の主体で、一部は灰化岩(粘土化硬土)を含む。 一部は粘土(0.5~2mm)割れ目あり。土質は割れ目(2 稜角)。 30~70°割れ目の主体で、一部は30°の角交~鈍角の30~70° 割れ目も分布する。後者の割れ目は前者の割れ目に比べて 多い。 10.80m以降では、前者の割れ目(30~70°)に幅1~2mmの軟弱 粘土脈(10YR 8/1)~淡黄色(2.5Y 7/3)の粘土脈(10YR 8/1)が 多い。
0.5	11.28 11.65					v							10.76~10.88m 上端35°、下端30°で、上端は連続的に30~70°、下端は 粘土(連続的)。20~35割れ目の一部は幅0.5~1mmの軟弱 一部固結状の厚さ(2.5Y 7/2)粘土脈(10YR 8/1)粘土泥片 状で、周囲は赤褐色(2.5YR 7/3)を呈す。厚さ10~15mm。
1.2					c	v	D	δ	2	4			10.88~10.91m 上端30°、下端35°で、両端は連続的に30~70°に連続的。 中5~10mmの灰化粘土粘土層を含む稜角粘土あり。従 来のHbに比べ粘土量は少ない。最下位の幅5mmの粘土化 土(2mm)。また、2mmの粘土脈(10YR 8/1)~粘土(10YR 8/1)と 全体の色調は、Hbに類似(10YR 8/1)~黒褐色(10YR 3/1)と あり、厚さ20~30mm (主として10.93m)
1.3									0	9			10.91~10.93m: 破砕帯 Hc-2 (D-破砕帯) 上端35°、下端30°で、両端は連続的に30~70°に連続的。 φ1~2mmの石英粒と粘土(φ3~5mmの粘土)と若干含む 軟弱な浅黄褐色(10YR 8/4)粘土。最下位は石英粒、 粘土を含む幅1~2mmのp>粘土脈(10YR 7/1)粘 土を連続的。全体の色調は、浅黄褐色(10YR 8/4)で、厚さ 5~15mm
0.5									0	4			10.93~11.22m 粘土化部粘土脈は粘土分布するが、全体が均質化して いる。
1.4													11.22~11.65m 30~70°割れ目の主体で、Hbに角交~鈍角の30~50°割れ目一部 含む。 粘土脈は粘土(10YR 8/1)割れ目(10YR 8/1)粘土化あり。
1.5					c	v	D	δ	2	9			11.65~17.89m 上位割れ目(30~70°)あり、7割れ目あり。

調査名		孔番・深度		観察日								
		D-4 (15 ~ 20)		5/28 5/23								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
05	15.27		Gp	7.5YR 7/2 明褐色	c	IV	D	δ	2			<p>硬さDの薄片が主成分の軟弱な一部に、灰化の 集塊状の硬さEが分布(2割)</p> <p>15.27m以下では、割れ目は灰化結核が、割れ目 周辺の砂状化は認められる。与る。</p> <p>粘土成分が豊富、割れ目(はさまい)粗粒の分布が与る。</p> <p>割れ目の一部は深さ20cm程度まで。</p>
16			Gp						0	δ		<p>12.60m、45° 幅1~2mmの石英脈。境界付近に割れ目化、 割れ目を含む間 10~20mmの2割程度に灰化は長石 斑晶を多く含む。</p> <p>13.00~13.38m 灰化砂状化の硬さEが分布。</p> <p>13.45~16.80m、45~10mmの粘土化の白濁化は長石 斑晶を多く含む。</p> <p>16.50m、55°割れ目幅1~10mmの膨張性の軟弱な 灰化(2.5Y 7/2)粘土脈が分布。</p> <p>16.00~17.10m、複数の75~85°の深さEに分布する 割れ目が分布する。一部は幅1mmの軟弱な灰化粘土と は2割。</p>
17									0	b		<p>17.03m、45° 幅2mmの石英脈が硬さに密着して連続</p> <p>17.32m、60° 幅2mm 軟弱な中間結核の明灰化(7.5Y 7/2) 2.5Y 7/2の粘土脈が分布。鉄細石を多く含む。</p> <p>17.82m、40° 幅1mmの石英脈が硬さに密着して連続。</p>
18	17.89 17.93		Gr	7.5YR 7/4 13.5° 橙	d	VI	E	δ	0	7		<p>17.89 ~ 18.44m : 灰褐色 (Gr)</p> <p>上部50° 幅3~4mm 石英脈と幅2~5mmの深緑色結核 (緑泥石)が分布。平均幅3~5mmの石英、長石、中1~3mmの黒雲 の各斑晶を多く含む。黒雲の花崗岩が分布。長石斑晶は幅 10mm程度と大型化が認められる。全体の平均粒径粗粒状 とす。</p> <p>下部境界はGpに準ずる(2割)。</p> <p>上部境界付近に分布する粘土結核が、粘土以外の粘土化は ない。2割、割れ目粘土結核が分布する。灰化(軟化 2割)。</p>
19	18.44		Gp	7.5YR 7/3 13.5° 橙	c	IV	D	γ	2			<p>18.44 ~ 21.00m</p> <p>30~50°割れ目が主体で、一部は2割に60~70°割れ目種交 り分布。</p> <p>割れ目の一部は幅1~2mmの軟弱な粘土脈(7.5Y 7/2)程度 は2割。</p> <p>19.08m、50°割れ目幅2~3mmの固結粘土脈(2割)、上部約 50mmの2割程度に分布。</p> <p>18.90~19.75mには幅1~5mm、30~50°の硬さに密着して石英脈 の複数分布。脈間には粘土化は認められる。</p>
20									0	7		

調査名			孔番・深度		観察日								
			D1-4 (20 ~ 25)		5/20 5/23 5/24								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
05	20.67		Gp	2.5YR 7/2 灰褐色	C	IV	C	γ	2	0	7	C2	20.60m. 70°割れ目10m前後に化して居る。割れ目石の 名化は伴わない。割れ目には2mm径の黒褐色泥質。
21	21.00									0	7		21.00 ~ 21.66 m 割れ目は4mm径。一部で60°前後の低密着割れ目石が 打撃で分離し易い。
04	21.66			2.5YR 7/2 明褐色									21.19m. 35° 21.44m. 50°の割れ目幅1mmの石英脈が 母岩に露着して分布する。 21.50m. 60°のせん断性割れ目。上記の21.44m. 50°の石英脈を (互位差不明) 21.60 ~ 21.70 m 30 ~ 50°割れ目が主体 割れ目には石英。砂粒化して、9mm / 3mmの軟弱な灰色石 の石英脈を伴って居る。後者の分布範囲は広い。
22										36	18		22.35 ~ 22.40 φ15 ~ 22型の母岩斑痕29の分布 22.72 ~ 22.45 ~ 22.70m. 60°の割れ目10m前後に化して居る。 名化は伴わない。
05	22.50												22.27m. 50°の割れ目10m前後に化して居る。母岩の軟弱な割れ目 に化して居る。
23										10	10		23.40 ~ 23.47m. 60 ~ 70°の低密着割れ目が緩軟な平行の 分布。一部に石英、石英斑痕が加り、石英脈化の幅1mm 前後に化して居る。
05	23.7									0	9		24.59m. 40°割れ目10m前後に互に緑色化(緑泥石化)。 φ2mm前後の黒色を伴う。
24					C	IV	D	δ	2	0	9	C2	
05													
25										0	9		



調査名		孔番・深度		観察日									
		D1-4 (30.00 ~ 35.00)		5/23, 5/24									
標尺 (m) <sup>30</sup>	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ					風化	変質
05	30.20		Gp	25R 1/2 灰褐	b	III	B					29.73 ~ 30.20 m 硬で、割れ目が少ない。130mm程度の粗粒がある。	
	30.70				c	IV	C					30.20 ~ 31.03 m 低着着割れ目が多量、概ね3cm以上の割れ目間隔の形状IVである。 割れ目低着着割れ目は30~50mm程度で、両者は互いに海成化に伴って分布する。	
31	31.03								12	12		31.03 ~ 32.30 m 60~80割れ目、低着着割れ目が主体で、一部で、これらに斜交して分布する40~50割れ目、低着着割れ目も分布する。 割れ目に風化、海成化に伴って分布する、粗粒状の粗粒は10~20mm。	
	31.50				c	V	C					31.37 ~ 31.51 m 12 ~ 15cm間隔で60~70割れ目、低着着割れ目が平行に分布する。 31.45 ~ 32.30 m 45~90度の割れ目が、波打と連続する。割れ目の一部に軟弱な粘土付着層1~2mmが分布する。	
32	32.30								0	7		32.13 m 60°傾斜5~10mm程度の粗粒状の粗粒は、低着着割れ目と斜交して分布する。基底付着層は、20~30mm程度の粗粒状の粗粒を有する。	
	32.50											32.30 ~ 33.10 m 一部で硬質の粗粒状の粗粒を有する。 30~50割れ目と、これらに斜交して分布する60~80割れ目が主体で、32.06 m、80割れ目の上盤化は、割れ目の形状化は、粗粒状の下盤化の一部の割れ目より、割れ目の一部に風化と海成化に伴って分布する。 粗粒状の粗粒は、全体的に連続して粗粒状分布する。 33.00 ~ 33.10 m 粗粒状の粗粒は、4~5mm以下の粗粒状の粗粒を有する。	
33	33.10								0	9		33.10 ~ 33.65 m 硬質Bと硬質層の割れ目、割れ目の一部は、一部は風化と海成化に伴って分布する。 33.24 m、45°傾斜10~20mmの粗粒状の粗粒は、母岩に連続して分布する。	
	33.30											33.65 ~ 34.15 m 一部は34.00 ~ 34.30 m 割れ目が多量で形状IVと形状Vと見られるが、これ以外に形状IVである。 硬質は34.64 m以上はC主体、以降はBと硬質である。	
34	34.00									34	13		割れ目は30~50mm程度だが、一部で、これに斜交して分布する50~60割れ目も分布する。30cm以上の厚さの割れ目と交差する90°割れ目は、34.42 m付近に36.5mm程度の粗粒状の粗粒が分布する。34.64 m以上は、一部は割れ目の一部に風化と海成化に伴って分布する。以降はCの形状化した粗粒状の粗粒が主体である。
	34.22											34.00 m、60°傾斜1~5mmの軟弱な粘土付着層は、連続して30~30mmに連続して下盤化して34.22 m付近まで風化と海成化に伴って分布する。	
05	34.64												
	34.70												
35				25R 1/2 灰褐	b	IV	B			0	9		

調査名		孔番・深度		観察日								
		D1-4 (35.00 ~ 40.00)		5/23, 5/24, 5/25								
標尺 (m) <sup>35</sup>	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ					風化
	35.42		Gp	25YR 6/2 灰褐色	b	IV	B	Y	2		C <sub>1</sub>	34.57~35.75 ~ 34.63 ~ 65m 細心の割れ目が発達し、全体が軟化(硬20)。粘土化は均一に分布している。また、20cm 強硬な層が、黒褐色化している。
65												
	36.00											35.70 ~ 36.00m 低濃度軟化層の一部に幅 2~4mm の軟化層が白色粘土質の層として連続して分布している。粘土化は均一的に分布している。
	36.50											36.30 ~ 37.20m は 75~90° の高角度割れ目によって硬くて高強度の層状構造を形成している。一部は粘土化が粘土質粘土化している。
	37.00											36.37 ~ 75° の傾斜に割れ目が発達する 25~80° 割れ目と 60~70° (高角度 30cm 以上)。割れ目の開口部が粘土質粘土化している。
	37.15											36.60 ~ 36.65m 幅 2mm の石英脈が均等に分布している。36.69m 以上の高角度割れ目には粘土質粘土化は分布している。
	37.18											36.80 ~ 37.00m 75~80° の高角度割れ目の中の幅 2~4mm の石英脈は 20cm 強硬な層として粘土化している。
	37.68											37.15 ~ 39.60m 上位に軟化層。割れ目が多い。硬さは 37.60 ~ 38.95m 間の B 質主体で、その上下位層に硬さ C 質の層が分布している。割れ目は 40~50° 主体で、これに斜交して 60~80° 割れ目も分布している。
	38.00			5YR 6/4 灰褐色								38.95 ~ 39.41m の硬さ D 質(硬)は、割れ目も連続して分布している。
	38.15											割れ目は硬さ C 質の 37.15 ~ 37.60m、39.41 ~ 39.60m には粘土質粘土化が粘土質粘土化している。硬さ B 質の 37.60 ~ 38.95m には割れ目硬化層が粘土質粘土化が粘土質粘土化している。
	38.41				b	V	B					硬さ D 質の 38.95 ~ 39.41m には幅 1mm 前後の白色軟弱な粘土層が連続して分布している。
	38.60											37.18 ~ 37.60m 20cm 強硬な層が、割れ目も均等に分布している。全体は粘土質粘土化(7.5YR 5/1)と分布している。
	38.95											38.12 ~ 38.20m は割れ目も粘土質粘土化が粘土質粘土化している。
	39.00											38.95 ~ 39.41m は硬化と変質の軟化層。特に、最下位層の 39.34 ~ 39.41m は、上部 25°、下部 30° の傾斜に厚さ 1~1.5mm 程度の軟弱な粘土層が 20~30°、60~65° 幅 1~4mm 程度分布している。
	39.41											39.41 ~ 39.60m は硬さ B 質の層で、硬さは粘土質粘土化、未変質である。
	39.60											39.50m 20° 幅 2~4mm の石英脈が均等に分布している。
	39.90											39.60 ~ 39.90m 硬さ B 質の層で、割れ目も粘土質粘土化している。
40					V	C						粘土質粘土化、未変質と硬さ C 質である。

調査名		孔番・深度		観察日							
		D1-4 (40.00 ~ 45.00)		5/25							
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
40	40.00										39.90 ~ 40.68 m 40~50° 割れ目がほぼ平行に分布する。 凡化で割れ目の一部が薄く砂状化しているが、幅1~2cmの 帯状の砂状化地帯と交互に分布している。
0.5	40.68			5YR 6/4 灰褐色	c	v	c	γ	2		20.24°, 40° ~ 20.24° 斜りに割れ目があり、粘土質の軟弱な 割れ目は20°前後の角度に分布している。全体に砂状化傾向は 10°前後である。
41	41.20		Gp		b	iv	B		10	10	40.68 ~ 41.20 m 硬質で、割れ目は41.20 m 75~80°の高角度割れ目と 地帯(硬質)の軟弱部と接する。高角度割れ目は、 41.00 ~ 41.50 m 程度に分布している。傾角5~10 mm 程度の砂状化が3~5mm程度の破砕片を伴って見られる。 割れ目は20~30°の低角度の割れ目が分布している。20°前後の 低角度の低密着割れ目も分布し、コア形状ivである。 割れ目の砂状化は少ない。
0.5	41.62				c	v	d	δ			41.20 ~ 41.62 m 上部75~80°、下部80~85°の高角度割れ目に囲まれて、全体に 砂状化している。 高角度割れ目と傾角~傾斜20~30°割れ目の主体で、割れ目 の一部は薄く砂状化している。粘土質の軟弱部はほとんど分布せず。 高角度割れ目の一部に傾角95°程度の比較的軟弱な割れ目も 付着している。
42	42.37				b	iv	B	γ	2	7	41.62 ~ 42.37 m 硬質で、割れ目もやや少く見られる。 40~50°割れ目の主体で、傾角40~50°前後の低密 着割れ目が多い。 割れ目、低密着割れ目には砂状化、粘土質の軟弱部 は少ない。20°前後の低角度割れ目の一部が3~5 mm程度の砂状化片を伴っている。
0.5	42.61				c	v	c				41.92 m、40°傾角5~6mm 石英脈の両側に密着して連続。 脈の周辺にφ0.1mmの金属鉄粉の混入。
43	43.54				b	iv	B		0	7	42.37 ~ 42.61 m 低密着割れ目が細く分布し、傾角は高角度である。 42.37 ~ 42.46 m 割れ目が約10mm前後の長さで、粘 土質の軟弱部に砂状化している。粘土質の軟弱部 に粘着している。
0.5					c	v	c	γ	2	12	42.43 m、60°割れ目はせん断に割れ目で、粘土に条痕の混入 がある。
44				5YR 6/4 灰褐色	c	v	c	γ	2	12	42.61 ~ 43.34 m 30~50°割れ目の主体で、ほぼ平行に分布する。 硬質で、割れ目は薄く砂状化傾向が少く、粘土の軟弱部は 少ない。傾角20°前後の低密着割れ目が割れ目の主体である。 43.39 m、55°傾角3~4 mm 石英脈の両側に密着して連続する。
0.5									0	6	43.34 ~ (45.00 m) 粘土質の硬質Bが多い。低密着割れ目が細く分布し、全体に 硬質「c」である。
45											



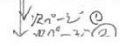
調査名		孔番・深度		観察日											
		D1-4 (45.00 ~ 50.00)		5/26(金曜日)、5/29											
標尺 (m) <sup>1/2</sup>	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					RQD	
0.5	45.45		Gp	5YR 0/4 細粒	c	IV	c	Y				CL	<p>割れ目は50-70°、これに斜交の面交角 30-60° の条帯が 割れ目の一部に厚く交代化して、1層/2mmの軟弱 な粘板状に分布している。</p> <p>43.74m、50-51mの間 2mmの交代化、一部は1mmの 雲母片が剥離した。この間にはコンクリート管が埋め込まれている。 本割れ目1cm下位の45.36mには本割れ目と平行に幅 3-5mmの石英脈が連続する。</p> <p>44.67m、50-51mの間 2mmの交代化、一部は1mmの 雲母片が剥離した。この間にはコンクリート管が埋め込まれている。 本割れ目1cm下位の45.36mには本割れ目と平行に幅 3-5mmの石英脈が連続する。</p> <p>44.83m、60-61mの間 1-2mmの軟弱な粘板状に厚く 粘板状に分布している。</p> <p>45.00 ~ 45.45m 60-70° 割れ目、低密着割れ目が主で、これに斜交 の面交角 40-60° 割れ目、低密着割れ目も分布する。 一部の割れ目には石英脈の交代化が認められ、粘板状に分布す る。本割れ目にはコンクリート管が埋め込まれている。</p> <p>45.24m、45.00 ~ 18mmと粘板状に連続する。石英脈 は上盤割れ目の一部に交代化し、下部には連続する。</p> <p>45.45 ~ 46.06m 70-80° のこれに斜交の面交角 40-60° 割れ目、低密着割れ目 も分布する。特に低密着割れ目の多くは、約10-30mmの間隔で 分布している。 隙間には粘土質のBの割れ目、割れ目の間に粘板状に分布している。</p> <p>45.47m、45.00割れ目には交代化が認められ、交代角が60°割れ目と 一致している(交代角 4mm 程度)。</p> <p>46.06 ~ 46.31m 上段の交代化はBの塊状(IV)。 これに交代角が50°程度の割れ目も分布する。割れ目の間に粘板状に 分布している。</p> <p>46.31 ~ 46.67m 40-50° 割れ目、低密着割れ目の約10-15mmの間隔で約1cmの平行に 分布し、一部は交代化している。石英脈はBの塊状に 同時に分布している。</p> <p>46.67 ~ 47.48m 深部Bの塊状で、割れ目も分布する。46.45 ~ 47.00mの間 は低密着割れ目の分布する。 割れ目、低密着割れ目には粘板状に分布している。</p> <p>47.48 ~ 47.67m 石英脈と交代化が認められ、60-85°の低密着割れ目の分布は 年月化している。</p> <p>47.67 ~ 48.52m 40-50° 割れ目と平行に分布。48.17mの交代化が認められ、石英脈の 交代化している。交代角は交代角の交代化している。 粘板状に分布している。</p> <p>48.52 ~ 48.84m 上段の交代化、40-50° 割れ目の平行に分布 低密着割れ目は40-50° の石英脈は60-70° 分布 の石英脈、粘板状に分布している。</p>		
	46	45.08					b	III							
0.5	46.31						c	V	c	δ					CL
	46.53						b	IV	c	Y	2				CH
0.5	46.67						c	V	c	δ	2				CL
	47.00						b	IV	c	Y	2	33		12	CH
0.5	47.48						c	V	c	δ	2				CL
	47.67						c	V	c	δ	2				CL
0.5	48.17						c	V	c	δ	2				CL
	48.42						c	V	c	δ	2				CL
0.5	48.52				c	V	c	δ	2			CL			
	48.84				c	V	c	δ	2			CL			
0.5	49.03				c	V	c	δ	2			CL			
	49.17				c	V	c	δ	2			CL			
0.5	49.43				c	V	c	δ	2			CL			
	49.67				c	V	c	δ	2			CL			
50					b	IV	c	Y	2			CM			

調査名		孔番・深度		観察日									
		01-4 (50.00 ~ 55.00)		5/29 5/30									
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ					風化	変質
	50.02			緑灰							48.84 ~ 49.83 m		
	50.24			暗灰黄							50~50 割れ目、低密度割れ目層で、49.17m 以降では 20~40 割れ目層に 20~40 の割れ目層が 20~30 の 割れ目層の割れ目、低密度割れ目層の 0.5m の単粒の砂白~明黄緑 粘土層に付着する。		
05	50.32			緑灰							49.83 ~ 52.07 m		
	51.44		Gp	2.5R 5/2 灰緑	b	IV	B	Y	2	10	9	CM	20~40 の割れ目層の主体 (2.5R) の 49.83 ~ 50.09 m と 50.24 ~ 50.32 m は 緑灰色 (2.5R 5/2) 化 (緑泥石化)、粘土層に 粘土層に付着する。緑色 化部下層位の 50.09 ~ 50.11 m は 黄緑化 (割れ目層 に 20~40 の砂 20~30。 緑泥地帯は主に割れ目層と調和的に分布する。
05	51.56				V							50.81 m、40 度の人形に割れ目層、交差する 55 割れ目層と 20 度 (変位量 100mm 程度)。	
52	52.07				IV					35	14		51.30 m、38°、51.33 ~ 47° の割れ目層に 10~15 の破砕 粘土層 (黄緑色) の分布する。 51.44 ~ 51.56 m、割れ目層に 20~40 度進む。 51.80 m、25 割れ目に 方解石と 粘土層の 白色粘物 割れ目 層に 20~40 の 粘土層に分布。 51.56 m ~ 52.07 m、80~90° の低密度割れ目層の 連続的 分布層に付着する。 52.07 ~ 52.55 m
05	52.55			2.5R 灰緑	d	V	E				3	D	20~40 の 10~30mm 主体の 粘り、粘り層に 粘り層に分布 粘り層 1 ~ 5mm の 粘り層に 粘り層 (5.4R 5/1) の 白色粘土層 の分布する。 52.07 m、450 粘り層 7~8mm、52.52 m、250 粘り層 3~5mm の 白色粘り層に 方解石と 粘土層に付着する。 52.52 m、250 の粘り層は 粘り層に 粘り層 (5.4R 5/1) の 粘り層 2~3mm の 粘り層に付着する。
53	52.97				c	V	E			0	8		52.55 ~ 52.97 m
05	53.05				d	V	E			4	3	Hc-1	不特定方向の割れ目、低密度割れ目層の 20~30 の 10~30mm の 硬さの 粘り層に付着。粘り層の一部に 粘り層 0.5~1mm の 粘 り層に付着。52.82 m、20 割れ目に 粘り層 2mm の 粘り層の 緑灰色粘土層に付着する。
05	53.46												52.97 ~ 53.46 m : 破砕層
	53.68												52.97 ~ 53.05 m : Hb
54	54.12				c	V	C			3	0	2	上部 50、下部 50 で、両者共に 粘り層に 粘り層に付着。 粘り層 1~2mm の 粘り層と 粘り層 5~10mm の 粘り層に 粘り層に付着。 粘り層 5~10mm の 粘り層に 粘り層 (10.4R 5/1) の 粘り層に付着。厚さ 40mm
05	54.74												53.05 ~ 53.10 m : Hc-1 (主断面)
	54.88												粘り層 5mm の 粘り層に 粘り層に付着。粘り層 粘り層に付着。 粘り層 5mm の 粘り層と 粘り層 5~10mm の 粘り層に 粘り層に付着。 粘り層 5~10mm の 粘り層に 粘り層 (10.4R 5/1) の 粘り層に付着。厚さ 40mm
55	54.88												53.05 ~ 53.10 m : Hb
	54.98												上部 50、下部 50 で、上部は 粘り層に 粘り層に付着、下部は付 着層に 粘り層に付着。粘り層 5~10mm の 粘り層に 粘り層に付着。 粘り層 5~10mm の 粘り層と 粘り層 5~10mm の 粘り層に 粘り層に付着。 粘り層 5~10mm の 粘り層に 粘り層 (10.4R 5/1) の 粘り層に付着。厚さ 30~40mm
	55.08												53.10 ~ 53.44 m : Hc-1
													上部不明瞭、下部 450 で、上部は 粘り層に 粘り層に付着、下部は付 着層に 粘り層に付着。粘り層 5~10mm の 粘り層に 粘り層に付着。 粘り層 5~10mm の 粘り層と 粘り層 5~10mm の 粘り層に 粘り層に付着。 粘り層 5~10mm の 粘り層に 粘り層 (10.4R 5/1) の 粘り層に付着。厚さ 30~40mm

調査名		孔番・深度		D1-4 (55.00 ~ 60.00)		観察日		5/30 5/31 (水)				
標尺	深度	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
55				25YR 7/2 明褐色 (55.00)		D	δ	3				53.44 ~ 53.46m: Hc-2 上部45°, 下部45°で、上部はP>Q打て、下部は断片的で20-70°に連続。φ1mm石英粒とφ3mm前後の粘土化(Gr)岩片と少量の単斜的石英(10%程度)を粘土(25YR)粘土、厚4~12mmの断片
55	55.41			25YR 6/2 灰褐色								53.46 ~ 53.68m 軟(粘土化)岩。 53.55m, 55°, 53.67m, 70°の割れ目に幅1mm, 2~4mmの断片的石英(25YR)粘土を伴う
56	56.18		Gp		c	v	C	γ	2	0	4	53.68 ~ 56.54m ①同中央部の54.44~54.69と54.80~55.41m同様にD <sub>1</sub> とD <sub>2</sub> の上、T <sub>1</sub> とT <sub>2</sub> のc <sub>1</sub> とc <sub>2</sub> の割れ目は互に平行でVとWのc <sub>1</sub> とc <sub>2</sub> の割れ目は30~40°とc <sub>2</sub> は斜交に走る。60~80°割れ目と低角度割れ目も互に平行で走る。 54.41m以下では割れ目のc <sub>1</sub> に粘土化が認められ、一部は割れ目に幅1mm程度の石英の付着による白色粘土の付着が認められる。粘土化はc <sub>2</sub> に連続する。
57	57.57				b	v	B	β	2	12	12	54.44m, 70°幅3~8mmの断片の分布、上盤側境界は割れ目化す。下部は石英に密着する。54.44mと65.00mの断片はc <sub>1</sub> に付着(変位量3mm程度) 54.44m, 65.00mの断片は割れ目化す。上記の断片は互に平行で走る(変位量3mm程度) 54.44 ~ 54.64mは割れ目化す。粘土化はφ5~10mmに相当する。 55.41m, 55.00mの断片は割れ目化す。上盤側の20°割れ目、下盤側の80°割れ目の付着が認められる(変位量不明)。 56.18m, 60°~56.23m, 50°の割れ目に同様に互に平行で走る。
58	58.37				c	v	c			0	6	56.54 ~ 56.57m 断片的な石英の付着。 上部60°, 下部60°で、上部は断片側傾斜で90~70°で互に連続し、下部は互に平行で走る(20~30°に連続)。 φ1mm前後の石英粒とφ5~10mmの粘土化(Gr)岩片と少量の断片的石英の付着粘土で全体の色調は灰褐色(25YR)~明褐色(25YR 7/2)で粘土は粗粒に呈す。 厚は10~15mmで、粘土は断片側の56.52m付近で粘土化は20°に傾斜する。
58	58.75				b	v	B	γ				56.57 ~ 57.63m 硬質Bで堅硬である。 50~60°とc <sub>1</sub> とc <sub>2</sub> の割れ目は20~60°割れ目と互に平行で走る。割れ目の付着、粘土化は断片側の付着。 一部は割れ目同様の低角度割れ目も分布する。
58	58.95				c		c			0	9	57.63 ~ 57.75m 50~60°割れ目、低角度割れ目も50~10mmの断片で互に平行で走る(粘土化)。
59	58.96				b	v	B	β	2			57.75 ~ 58.37m 硬質Bで堅硬である。 割れ目はc <sub>1</sub> とc <sub>2</sub> の割れ目である。58.00~58.15mを中心とした50~50°の低角度割れ目が多い。57.75mの石英粒は付着する。 また、57.90 ~ 57.97mに80~90°割れ目も連続し、他割れ目との交差部の一部はφ3~5mmに相当する。
59	59.47				d	v	E	δ	3			58.37 ~ 58.85m 割れ目境界でBで堅硬である。20~30°割れ目と80~90°割れ目の交差し、交差部の一部はc <sub>1</sub> とc <sub>2</sub> の粘土化(Gr)とφ5mm前後の断片に付着。粘土は粗粒である。
59	59.58				c	v	D	δ	3			
59	59.96			25YR 6/2 灰褐色		C	γ			0	7	

4/30

調査名		孔番・深度		観察日											
		D/-4 (60.00 ~ 65.00)		5/31, 6/3											
標尺	深度	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等			
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	RQD	
65	60.06		Gp	7.5YR 6/2 灰褐色	c	v	c	γ			SC	58.85 ~ 58.96 m 60°割れ目片で、硬質cと上下に軟化部。 58.55m, 50°割れ目は幅10mm ~ φ5mmの片状に扁平化した細岩片と粘泥状の明緑圧色(2.5GY 8/1)の軟弱粘土の3層と粘土塊状片状に呈する。58.85m, 50°割れ目は互層状にシラ-70に連続し、せん断付帯層の可能性がある。 58.96 ~ 58.97 m 硬質Bと硬質で50°割れ目の片状で硬。割れ目の断面が異なる。 59.16 m, 45°割れ目の下地層幅約30mmの細粒状高粘緑色土質がGpとの境界は漸移的。 59.47 ~ 59.58 m 30~50°の割れ目、低密度割れ目に幅1mmの粒状の白色粘土板と少くは2mm、全体軟弱(軟弱)。 59.58 ~ 60.06 m 10mm前後の粒状の白色粘土板の分布。 59.97mに硬質D、59.97m以下は硬質cの主層の割れ目には割れ目、細粒の低密度割れ目に多い。 60.06 ~ 60.38 m: 破砕帯 60.06 m: Hc-1 (せん断面) 45°幅30mmの軟弱~硬質面状の暗緑灰色(2.5GY 4/1)粘土。石灰岩片は含まれておらず、連続的にシラ-70に連続する。 60.06 ~ 60.16 m: Hb 上部45°下部不明瞭で、上部は連続的にシラ-70に連続する。下部は不明瞭。 φ2~3mm石灰岩、φ5~10mmの粘土比Gpと多量に含む華状粘土と軟弱の硬質粘土と石灰岩(2.5GY 8/1)に呈する。厚さ約30mm ~ 50mm 60.16 ~ 60.38 m: Hj 上部不明瞭、下部60°で、下部は連続的にシラ-70に連続。φ10mm前後の粘土比硬質DのGp片と粘泥状の互層状に分布する幅1~3mmの石灰岩粘土板の5割、粘土比片状に呈する。色調は明褐色(7.5YR 7/2) ~ 緑色(2.5GY 8/1)で、厚さは270mm(27層)。 60.38 ~ 60.74 m 硬質Bと粘泥状片で、割れ目は消滅(0.03cm)の、かすんで50~60°の割れ目の一部が残留(2層)。割れ目中斜向に幅1mm前後の粒状の粘土板の分布。 50~60°の石炭、斜向の白色粘土板の幅2~5mmで分布する。 60.74 ~ 60.96 m φ5~20mmの硬質DのGp片と粘土比の基礎の5割角礫構造部である。 60.96 ~ 61.39 m 粘片厚は硬質Bの主層の割れ目、低密度割れ目にφ10~20mmの片状に厚面片状(2層)、粘片に粘土の厚さ12mm ~ 4mm 61.05 ~ 61.28 m、50°斜向に硬質化した粘片が分布。割れ目表面にφ2.5mm前後の厚層状物(黄鉄鉱)の付着。 61.39 ~ 61.47 m φ5~20mmの硬質Dの粘片と粘土比の基礎が5割。 上部20°、下部50°の粒状のシラ-70が割れ目に固着。 61.47 ~ 61.52 m: 石灰岩帯 61.47 ~ 61.52 m: Hb 上部50°、下部45°で、両側に連続的にシラ-70に連続。			
	60.38				d	v	E		3					Hj	
	60.74				c	v	D								CL
	60.96				d	v	E				0		4		
61	61.39		7.5YR 6/2 灰褐色	7.5YR 6/2 灰褐色	c	v	c	γ				61.39 ~ 61.47 m 30~50°の割れ目、低密度割れ目に幅1mmの粒状の白色粘土板と少くは2mm、全体軟弱(軟弱)。 61.47 ~ 61.52 m 10mm前後の粒状の白色粘土板の分布。 59.97mに硬質D、59.97m以下は硬質cの主層の割れ目には割れ目、細粒の低密度割れ目に多い。 60.06 ~ 60.38 m: 破砕帯 60.06 m: Hc-1 (せん断面) 45°幅30mmの軟弱~硬質面状の暗緑灰色(2.5GY 4/1)粘土。石灰岩片は含まれておらず、連続的にシラ-70に連続する。 60.06 ~ 60.16 m: Hb 上部45°下部不明瞭で、上部は連続的にシラ-70に連続する。下部は不明瞭。 φ2~3mm石灰岩、φ5~10mmの粘土比Gpと多量に含む華状粘土と軟弱の硬質粘土と石灰岩(2.5GY 8/1)に呈する。厚さ約30mm ~ 50mm 60.16 ~ 60.38 m: Hj 上部不明瞭、下部60°で、下部は連続的にシラ-70に連続。φ10mm前後の粘土比硬質DのGp片と粘泥状の互層状に分布する幅1~3mmの石灰岩粘土板の5割、粘土比片状に呈する。色調は明褐色(7.5YR 7/2) ~ 緑色(2.5GY 8/1)で、厚さは270mm(27層)。 60.38 ~ 60.74 m 硬質Bと粘泥状片で、割れ目は消滅(0.03cm)の、かすんで50~60°の割れ目の一部が残留(2層)。割れ目中斜向に幅1mm前後の粒状の粘土板の分布。 50~60°の石炭、斜向の白色粘土板の幅2~5mmで分布する。 60.74 ~ 60.96 m φ5~20mmの硬質DのGp片と粘土比の基礎の5割角礫構造部である。 60.96 ~ 61.39 m 粘片厚は硬質Bの主層の割れ目、低密度割れ目にφ10~20mmの片状に厚面片状(2層)、粘片に粘土の厚さ12mm ~ 4mm 61.05 ~ 61.28 m、50°斜向に硬質化した粘片が分布。割れ目表面にφ2.5mm前後の厚層状物(黄鉄鉱)の付着。 61.39 ~ 61.47 m φ5~20mmの硬質Dの粘片と粘土比の基礎が5割。 上部20°、下部50°の粒状のシラ-70が割れ目に固着。 61.47 ~ 61.52 m: 石灰岩帯 61.47 ~ 61.52 m: Hb 上部50°、下部45°で、両側に連続的にシラ-70に連続。			
	61.47				d	v	E		4					Hc-1	
	61.52				c	v	D				0		4		CL
	62.09				d	v	E				0		4		
62	62.42		7.5YR 7/2 明褐色	7.5YR 7/2 明褐色	c	v	D					62.42 ~ 62.47 m 上部不明瞭、下部60°で、下部は連続的にシラ-70に連続。φ10mm前後の粘土比硬質DのGp片と粘泥状の互層状に分布する幅1~3mmの石灰岩粘土板の5割、粘土比片状に呈する。色調は明褐色(7.5YR 7/2) ~ 緑色(2.5GY 8/1)で、厚さは270mm(27層)。 62.47 ~ 62.61 m 硬質Bと粘泥状片で、割れ目は消滅(0.03cm)の、かすんで50~60°の割れ目の一部が残留(2層)。割れ目中斜向に幅1mm前後の粒状の粘土板の分布。 50~60°の石炭、斜向の白色粘土板の幅2~5mmで分布する。 62.61 ~ 62.74 m φ5~20mmの硬質DのGp片と粘土比の基礎の5割角礫構造部である。 62.74 ~ 62.88 m 粘片厚は硬質Bの主層の割れ目、低密度割れ目にφ10~20mmの片状に厚面片状(2層)、粘片に粘土の厚さ12mm ~ 4mm 62.88 ~ 62.90 m、50°斜向に硬質化した粘片が分布。割れ目表面にφ2.5mm前後の厚層状物(黄鉄鉱)の付着。 62.90 ~ 62.96 m φ5~20mmの硬質Dの粘片と粘土比の基礎が5割。 上部20°、下部50°の粒状のシラ-70が割れ目に固着。 62.96 ~ 63.29 m: 石灰岩帯 62.96 ~ 63.29 m: Hb 上部50°、下部45°で、両側に連続的にシラ-70に連続。			
	62.47				d	v	E		4					Hc-1	
	62.61				c	v	D				0		3		CL
	62.74				d	v	E				0		3		
63	63.29		7.5YR 6/2 灰褐色	7.5YR 6/2 灰褐色	c	v	c	γ				63.29 ~ 63.67 m 硬質Bと粘泥状片で、割れ目は消滅(0.03cm)の、かすんで50~60°の割れ目の一部が残留(2層)。割れ目中斜向に幅1mm前後の粒状の粘土板の分布。 50~60°の石炭、斜向の白色粘土板の幅2~5mmで分布する。 63.67 ~ 63.83 m φ5~20mmの硬質DのGp片と粘土比の基礎の5割角礫構造部である。 63.83 ~ 63.88 m 粘片厚は硬質Bの主層の割れ目、低密度割れ目にφ10~20mmの片状に厚面片状(2層)、粘片に粘土の厚さ12mm ~ 4mm 63.88 ~ 63.90 m、50°斜向に硬質化した粘片が分布。割れ目表面にφ2.5mm前後の厚層状物(黄鉄鉱)の付着。 63.90 ~ 63.96 m φ5~20mmの硬質Dの粘片と粘土比の基礎が5割。 上部20°、下部50°の粒状のシラ-70が割れ目に固着。 63.96 ~ 64.59 m: 石灰岩帯 63.96 ~ 64.59 m: Hb 上部50°、下部45°で、両側に連続的にシラ-70に連続。			
	63.67				d	v	E							Hj	
	63.83				c	v	D				0		3		CL
	63.88				d	v	E				0		3		
64	63.90		7.5YR 6/2 灰褐色	7.5YR 6/2 灰褐色	c	v	c	γ				64.59 ~ 64.73 m 硬質Bと粘泥状片で、割れ目は消滅(0.03cm)の、かすんで50~60°の割れ目の一部が残留(2層)。割れ目中斜向に幅1mm前後の粒状の粘土板の分布。 50~60°の石炭、斜向の白色粘土板の幅2~5mmで分布する。 64.73 ~ 64.88 m φ5~20mmの硬質DのGp片と粘土比の基礎の5割角礫構造部である。 64.88 ~ 64.96 m 粘片厚は硬質Bの主層の割れ目、低密度割れ目にφ10~20mmの片状に厚面片状(2層)、粘片に粘土の厚さ12mm ~ 4mm 64.96 ~ 65.00 m、50°斜向に硬質化した粘片が分布。割れ目表面にφ2.5mm前後の厚層状物(黄鉄鉱)の付着。 65.00 ~ 65.06 m φ5~20mmの硬質Dの粘片と粘土比の基礎が5割。 上部20°、下部50°の粒状のシラ-70が割れ目に固着。 65.06 ~ 65.07 m: 石灰岩帯 65.06 ~ 65.07 m: Hb 上部50°、下部45°で、両側に連続的にシラ-70に連続。			
	64.73				d	v	E							Hj	
	64.88				c	v	D				0		3		CL
	64.96				d	v	E				0		3		
65	64.96		7.5YR 6/2 灰褐色	7.5YR 6/2 灰褐色	b	v	B					65.00 ~ 65.06 m 硬質Bと粘泥状片で、割れ目は消滅(0.03cm)の、かすんで50~60°の割れ目の一部が残留(2層)。割れ目中斜向に幅1mm前後の粒状の粘土板の分布。 50~60°の石炭、斜向の白色粘土板の幅2~5mmで分布する。 65.06 ~ 65.07 m φ5~20mmの硬質DのGp片と粘土比の基礎の5割角礫構造部である。 65.07 ~ 65.08 m 粘片厚は硬質Bの主層の割れ目、低密度割れ目にφ10~20mmの片状に厚面片状(2層)、粘片に粘土の厚さ12mm ~ 4mm 65.08 ~ 65.09 m、50°斜向に硬質化した粘片が分布。割れ目表面にφ2.5mm前後の厚層状物(黄鉄鉱)の付着。 65.09 ~ 65.10 m φ5~20mmの硬質Dの粘片と粘土比の基礎が5割。 上部20°、下部50°の粒状のシラ-70が割れ目に固着。 65.10 ~ 65.11 m: 石灰岩帯 65.10 ~ 65.11 m: Hb 上部50°、下部45°で、両側に連続的にシラ-70に連続。			
	65.07				b	v	B							Hj	



調査名		孔番・深度		D1-4 (65.00 ~ 70.00)		観察日		6/3、6/4			
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
65	65.06			2.5YR 6/2 灰褐	b	v	B				<p><b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等</p> <p>φ10mm 石英粒、φ20mm の大石英粒は此層に印割れ 多し。コアの軟弱な緑色土帯は圧縮(2.5Y 6/1)の厚さ 約2cm、厚さ50mm - 61.52m: Hc-1 (主断面西) 45° 幅10mm の軟弱な暗緑色土(2.5Y 4/1)粘土と 連続的にシフトに連続する。</p> <p>61.52 ~ 62.42m 20~60° と 20° 前後に交互する 50~60° 割れ目あり。このうち、 20~30° の割れ目より連続的にシフトに連続する 20° が多い。 割れ目間を砂状化(圧縮、幅10mm 前後の軟弱な暗緑土~白色の 粘土帯に砂状化)していることが多い。</p> <p>62.38m: 30° 前後に交互的に割れ目、交互する 60° 割れ目と約 2m (変位量 7mm 程度)。</p> <p>62.42 ~ 62.49m 上部25°、下部20° の割れ目、割れ目幅5mm 前後の更工の割れ目と 粘土化帯は厚さ 0.5cm 程度。</p> <p>62.49 ~ 62.74m 変位した粘土(粘土化 90° 割れ目の一部が残留)。 割れ目幅 10~40° 前後で、幅 0.5~1mm の暗緑色土(2.5Y 4/1) ・灰帯土(2.5YR 6/2)に付着。</p> <p>62.67m: 40° 前後の 0.5mm 程度の軟弱な粘土に付着。その下盤 部) 幅 3~12mm 程度の 5mm 前後の白色粘土と軟弱な白色粘土帯 に付着。</p> <p>62.74 ~ 63.29m 割れ目より連続的に砂状化(約 60°、70° 前後と 40° 前後の割れ目、色帯 割れ目幅が残留)。 粘土帯は幅 0.5cm 程度、割れ目は深緑土~白色粘土帯に 付着するものが多い。</p> <p>63.29 ~ 63.67m 上位 5cm 程度(粘土化)。 63.38m まで、63.47m、55° の 2.5Y 6/1 に割れ目幅 0.5cm 前後の 20° は割れ目より連続的に砂状化(φ10mm 前後の厚さ 10~15mm の軟 弱な白色粘土帯に付着)に付着するものが多い。</p> <p>63.49m: 55° 前後に交互的に割れ目、多数の幅 1~2mm の軟弱な 白色粘土帯に付着するものが多い(変位量 2mm)。</p> <p>63.67 ~ 63.90m: 及び 64 層。</p> <p>63.67 ~ 63.83m: HJ 上部 45°、下部 60° 程度、両者とも一部不連続に連続する。 φ5~20mm の大石英粒は此層に印割れ多し。割れ目幅 20° 前後 1~2mm の軟弱な白色粘土帯に付着するものが多い。また、 63.72m に 45° 幅 2~3mm の軟弱な灰帯土(2.5YR 6/2)と一 連続的にシフトに連続する。 全体の粘土粒は片断状で、浸透性粘土帯(2.5Y 6/1) に厚さ 150mm (27層)。</p> <p>63.83 ~ 63.88m: Hb 上部 60°、下部 30° 程度、上部は連続的にシフトに連続する、下部は連続的にシフトに 連続する。φ5~10mm の大石英粒、一部は 2.5Y 6/1 の割れ目と 粘土帯に付着するものが多い。粘土帯は幅 2~3mm 程度の軟弱な粘土帯に 付着するものが多い。全体に 10° 程度の圧縮(2.5Y 6/1)~灰帯土(2.5YR 6/2)。厚さ 20~30mm 63.88 ~ 63.90m Hc-1 (主断面西、63.88m) 90° 幅 5~10mm 程度の連続的にシフトに連続する。粘土帯は幅 約 2cm (2.5Y 6/1)の粘土。割れ目幅 10mm 前後の石英粒を含む</p>
66	66.59			2.5YR 6/2 灰褐	c	v	C	0	5		
67	67.05			2.5YR 6/2 灰褐	d	v	E	0	4		
68	67.88			2.5YR 6/2 灰褐	d	v	E	0	2		
69	68.05			2.5YR 6/2 灰褐	c	v	D	0	3		
70	69.95			2.5YR 6/2 灰褐	c	v	C	0	5		

70m まで

調査名		孔番・深度		観察日								
		D1-4 (63.9 ~ 70.0)		6/4 記事の外								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等 (記事の外)
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
												・63.90~64.05m 深部コアのφ5~20mm Gr 断片と、粘土化で著しく軟化した基盤岩の存在。 64.05mで20°の歪斜角でコアが割れ目と接する。
												・64.05~64.57m 一部に硬質Bと泥質硬質Cの断片断片。 互いの変質が60°前後の割れ目、低密度割れ目の主体に硬質部の一部でφ10~20mmの断片に粘土化(2mm)。 割れ目の存在物は分布する。
												・64.57~65.06m 硬質Bと硬質C 10~30°割れ目主体。同角の低密度割れ目も分布する。 64.83m、60°割れ目に固形土幅1mmの緑泥色(25% G)粘土脈は2mm。
												・65.06~66.65m 30~60°の斜交に斜交した角40~80°割れ目の主体で、割れ目は通径が20°で2mm未満の断片が分布する。断片は連続的に連続するものが多い。断片部は粘土部で粘土化(2mm)で、割れ目にはφ5mm前後の断片は分布する。
												・65.07m、50°、65.37m、60°の割れ目とφ5~20mm、5mmの緑泥色化(φ0.5mm以下の微小存在物(黄鉄鉱)の少量分布(2mm)。
												・66.80~66.65m、10°55~60°の割れ目の10°平均に5~20mmの断片は分布する。粘土化は2mm。
												・66.64m、65°割れ目の幅5mmの緑泥色(緑泥色化)と、幅0.5mmの黄鉄鉱脈は2mm。
												・66.65~67.05m 互いに交互に著しく軟化した。 上部は60°割れ目と歪斜角で20°に接する。下部は歪斜角で20°。 φ5~20mmの硬質の断片の一部粘土化(粘土部)と粘土化の断片の存在が角部構造部で、断面には粘土化(1~2mm)の軟弱な粘土と粘土化の分布する。
												・67.05~67.88m 割れ目は一部が角部、一部は60~70°の断片に著しく、同角の低密度割れ目も多量分布。 割れ目の一部に幅1~3mmの軟弱な断片と暗緑色の粘土と粘土化の分布する。
												・67.88m、65°の断片に割れ目で、変質が60~70°の低密度割れ目多数に接する(変質不明)。
												・67.88~67.98m 上部65°、下部55°の割れ目に固形土、変質時代で著しく軟化した。粘土化は分布する。
												・67.98~70.00m 硬質断片で、一部は20°分布。 割れ目一部は粘土化と断片化(φ5mm前後)。 全体に粘土化は粘土化(2mm)。69.80m以下は粘土化、幅1mm以下の粘土化は粘土化と粘土化の分布する。 割れ目、低密度割れ目10°50~70°の断片は2mm。 (粘土化)幅1~3mmの軟弱な断片は60~70°の断片。 ・69.52m、70°、69.75m、70°の断片に粘土化割れ目で、変質が緑色の割れ目と接する。(変質不明)

以上

余白

H27-B-3



# 第四系コア観察カード

調査名		孔番	観察日				
		H27 B-3	H27 7/				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ-	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				灰物 山質 炭土 貝片 化石 木片			
0			0.00	0~0.35 砂(f.s.s)		10YR 3/1 黒褐色	0~1.70m:埋産土 粘土質に立立り、地下埋設物確認のため 手掘りの試掘を行な。その埋産土。
	0.35		0.35			10YR 6/4 黄褐色	0~0.35m:砂 0.35~1.70m:沖積砂~礫質砂
1	1.00		1.00		埋産土	10YR 4/2 灰黄褐色	
	0.5		1.70				
2							1.70~10.05m:粘土 構造物基礎の粘土部 小礫、中礫混じり粗砂~粗砂~砂礫の砂
	0.5				粘土	10YR 4/4 黄褐色	1.70~5.27m:砂 2.4~2.8m間の水平に割明り並列の軟弱粘土 収縮溝あり
3							
	0.5			3.61~3.67 mに砂礫 層あり			3.5m以下に粗粒砂が混在する。 3.61~3.67mに20cm程度の黒色化粘土質砂礫が 層あり。
4							

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 第四系コア観察カード

調査名				孔番	H27 B-3	観察日	H27 7/1
標尺	深度	イベント・地層境界	スケッチ	地質名	色調	堆積構造・特徴等	
(m)	(m)		マーカー 火山灰物 山礫化石 炭土貝木片				
4							
0.5							
5							
5.07							
0.5							
5.60							
6							
0.5							
7							
7.07							
0.5							

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
 境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番	観察日				
		427 B-3	427 7/176				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ-	地質名	色調	堆積構造・特徴等
			火砕土 貝木片	山灰物 質化石 片			
0	8.01		8.01				
0.5	8.37		8.01-8.19 砂岩		盛土	10R 1/4 10M 黄褐色	8.01 ~ 8.37 m : 砂
9	9.21		9.21			2.5GY 5Y 灰褐色	8.37 ~ 10.05 砂礫
0.5	9.26		9.26			10R 1/2 灰褐色	9.21 ~ 9.66 m 腐食した砂礫層 (一部は砂礫層) 骨材 (埋込物)
1.0	10.05		10.05				9.66 ~ 10.03 m 砂礫層 (赤土)
0.5							↓ 基礎部コア観察の参考
0.5							
1.2							

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 --- 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 B-3 (10.05 ~ 15)		H27 7/26, 7/27								
標尺 10 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等 (著) 「相沢了観察カード」参照
					割れ目状態	コアの形状	コアの種さ	風化				
	10.05											91~3% 石英、長石を凝結した花崗斑岩 (Gp). 長石は白濁化が顕著である。 10.05 ~ 12.96 m: C <sub>2</sub> ・硬さ「C」主体で、上部は10.05 ~ 11.20 m、中部は11.82 ~ 12.00 mは同化の「D」で硬さ「D」である。 ・硬さ「C」部分の一部は割れ目に挟まれたり含まれている部分もあるが、同化の部分が変質組織と断片的に混ざっている。 ・長石は多少の白濁化している。 ・10.70 ~ 10.80 m: 硬さ「C」の硬質部分が残っている。 ・11.20 ~ 11.82 m: 硬さ「C」主体で挟まれたりする、一部は高層部の低層部と混ざっている。 ・11.40 ~ 11.55 m: 割れ目の発生、岩片化が顕著で、石化に伴って硬さが増える。 ・11.82 ~ 12.00 m: 下部は硬さ「D」である。 ・下部の11.97 ~ 12.00 mは粘土化の「D」である。 ・12.00 ~ 12.96 m: 硬さ「C」主体で硬さ「D」の割れ目の厚さ1%程度と薄く粘土化が顕著である。 ・また、割れ目は軽度には「D」の軟質部分、一部は黒色化している。
	05				c	v	d	2				
	11								10	4	C <sub>2</sub>	
	05				b	c	d	2				
	12				c	v	d	3		7		
	05		Gp	9.5HR 7/2 明褐灰	c	v	d	2				
	13				x	x				9		
	05				c	v	d	3			D <sub>1</sub>	
	14				c	v	d	2		3	C <sub>2</sub>	
	05				x	x	x					
	15				c	v	d	2		6	C <sub>2</sub>	

調査名		孔番・深度		H27 B-3 (15 ~ 20)		観察日		H27 7/27				
標尺 (1/5 m)	深度 (m)	境界・集裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
15	15.32		Gp	7.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	δ	δ	2			・上端側の15.49m以下は硬土に主体、15.49m以下は硬土に主体である。 ・15.33~15.43m、風化に付砂状化と軽変質に付粘土化で酸化著しい。上端部30cm程度の割れ目あり。 ・15.73~15.80m、0.5割れ目の薄。→20%粘率あり。
	15.43				✓	✓	δ	δ	3			
16	16.49		Gp	7.5YR 7/3 暗褐色	×	×	×	×	2	10	10	・16.21m、50割れ目の幅5~15mm、*固結性、白色土に粘土化。 ・16.49m、25割れ目の下位は硬土に主体、一部に粘率度の低い割れ目を含む。 ・16.76~16.87m、10~20%粘率性、粘土化、粘率1~2%程度砂状化。 ・17.13~17.31m、割れ目の一部は幅1~2%の粘率層を粘土化。
	17.31				✓	✓	δ	δ	2		10	
17	17.50		Gp	7.5YR 7/3 暗褐色	✓	✓	δ	δ	2			・17.40~18.00m、粘率度の低い風化に付粘土を含む。以下粘率20%割れ目の一部は粘土、粘率化著しい。粘土に割れ目代(20%)の粘率あり。 ・17.85~18.00m、割れ目の交差、一部に20~30%に粘率粘土に砂状化あり。 ・18.05~18.27m、粘土変質に付粘率多量に付粘土化あり。
	18.04				×	×	×	×	1	8		
18	18.43		Gp	7.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	δ	δ	2			・18.43~18.94m、一部の割れ目が粘率40%の粘率粘土に粘土化あり。粘率10%程度あり。 ・18.90m、50割れ目の幅1~5%の粘率粘土に粘土化。
	19.04				✓	✓	δ	δ	2		5	
19	19.04		Gp	7.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	δ	δ	2			・19.59m、40と80割れ目の交差、80割れ目の40割れ目に粘土化あり。 ・80割れ目の19.65m、幅10%の粘土化粘土、下位は粘土化に付粘率10%程度あり、粘土の粘率粘土を含む粘土あり。
	20.04				✓	✓	δ	δ	2		5	
20	20.04				✓	✓	δ	δ	2			